



テラクリーン 100 取扱説明書

2016 年 4 月発行
株式会社ミクニ

まえがき

本書を熟読し、本機の操作、整備方法を理解しケガや施設への損傷を防いでください。本書及び本機に貼付されている警告シール(デカル)を習熟してください。

本書は本機の一部として常に本機と共に大切に保管してください。

本書の寸法表示はメートル法を採用しています。締め付け部品のサイズに注意し、適切な工具で作業を行ってください。

本書で言う左右は常に本機進行方向に向かった向きになります。

本書末尾の仕様欄に本機モデル、シリアルナンバーを転記してください。これら番号は部品注文の際に必要な場合があります。

本機は(株)ミクニが出荷前に機能点検しています。

目次

1.0. 安全	4	6.5. 前方のバッフルフラップ調整	15
1.1. 安全デカル	6	7.0. 作業	15
1.2. 機械の安全	6	7.1. 概要	15
1.3. 安全指針	7	7.2. 運転	15
2.0. 組み立て	8	7.3. グランドドライブの切り替え	16
2.1. 概要	8	7.4. 収集物の除去	16
2.2. 開梱	8	7.5. トラブルシューティング	17
2.3. 牽引バーの取り付け	8	8.0. 整備	18
3.0. 輸送	9	8.1. 概要	18
3.1. 概要	9	8.2. メンテナンス、点検リスト	19
3.2. 本機の輸送	9	8.3. 本機の洗浄	19
4.0. トラクターへの接続	11	8.4. ブラシの洗浄	20
4.1. 概要	11	8.5. ブラシレールの交換	20
4.2. トラクターへの接続	11	8.6. チェーンの張り調整	21
4.3. 牽引バーのスタンド	12	8.7. 潤滑	21
4.4. 本機の輸送	12	8.8. ホイールとタイヤ	21
5.0. トラクターからの取り外し	12	8.9. 分解/廃棄	22
5.1. 概要	12	8.10 未承認の改造とスペア部品	22
5.2. トラクターからの取り外し	13	9.0. 仕様	23
6.0. 初始動前に	13	9.1.仕様データ	23
6.1. 概要	13	9.2.締め付けトルク	25
6.2. 作業深度の設定	13	9.3.シリアルナンバー	25
6.3. ホッパー内のディフレッター調整	14		
6.4. 本機傾斜角度調整	15		

1.0.安全

警告マーク

本書や機体にあるこのマークは安全を喚起し、ケガを防ぐためのものです。推奨された安全指針に従い、事故を防止してください。



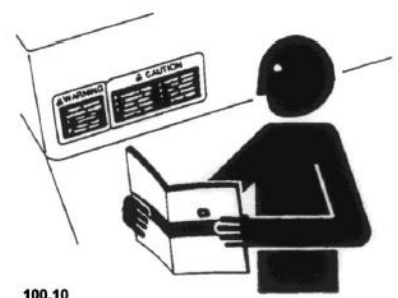
安全指針の遵守

本書や本機にある安全指針を熟読してください。警告マークが剥がれ落ちたりしないようにしてください。紛失、損傷したものは取り換えてください。新しい機体や交換部品に適切な警告マークがあるか確認してください。警告マークを交換する場合は、最寄りの(株)ミクニ営業所にお問い合わせください。

作業する前に本機の使用装置と操作法を理解してください。操作法が未習熟な者には操縦させないでください。

本機を良好な状態に保ってください。本機へ未承認の修理をした場合、機能、操作性、製品寿命に対して責任を負いかねます。

操作法がわからなかったり、補助が必要な場合は最寄りの(株)ミクニ営業所にお問い合わせください。



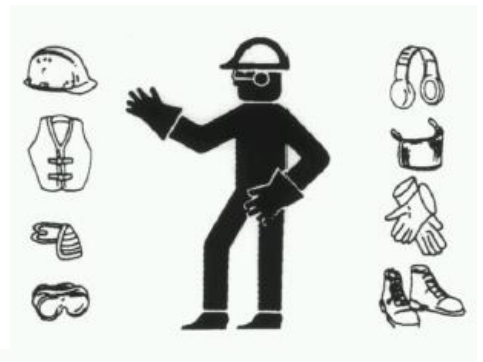
100.10

保護服の着用

作業に適した体に合う衣服と安全装置を着用してください。大きな騒音に長時間さらされると聴力を損傷、喪失する原因となります。

耳当て、耳栓等の適切な聴覚保護装置を使用してください。

充分注意して作業してください。ラジオや音楽用ヘッドフォンを使用しながら作業はしないでください。



回転ドライブシャフトへ近づかないこと

回転ドライブシャフトに巻き込まれると大きなケガや死につながる可能性があります。

シャフト保護装置がしっかり装着されていて、ユニバーサルジョイントシャフトが抵抗なく回転することを確認してください。体に合う衣服を着用してください。エンジンを止めて可動部品が止まってから調整、洗浄、PTO シャフトの取り外しを行ってください。



100.13

安全保護装置

安全保護装置は良好な状態で正しい位置に取り付けてください。

安全保護装置を取り外す場合は、常に可動部品とエンジンを止めてください。

手足や衣服を可動部品に近付けないでください。

高圧作動油

高圧作動油は皮膚を貫通し、大ケガの原因となります。

油圧関係の部品を外す前に圧力を解放してください。再度加圧する前には接続部を確実に締めてください。オイル漏れを確認する際は素手で行わないでください。紙や段ボールを使用してください。作動油が皮膚に入った場合は、医者に診てもらってください。数時間以内に外科的に除去しない場合、壊疽となる危険があります。医者がこの種のケガに精通していない場合、専門機関を照会してください。



安全ライトの使用

ヘッドライト、危険警告ライト、インジケーター、その他の安全機器を使用してください。

安全機器は良好な状態を保ってください。紛失、損傷部品は交換してください。安全ライトは最寄りの(株)ミクニ営業所で購入可能です。



高圧作動油付近での加熱作業回避

高圧作動油付近での加熱作業は可燃性蒸気を発生させ、やけどする危険があります。高圧作動油ホースやその他の可燃性物質付近での溶接、ハンダ付け、トーチ使用は避けてください。加熱対象の範囲を超えて熱が広がると高圧ホースが切れる恐れがあります。

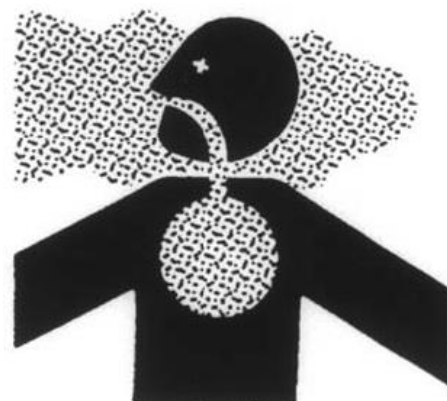


部品の溶接または加熱する前の注意事項

溶接は資格保有者が行ってください。

毒ガスや粉塵の発生を防いでください。有毒ガスは溶接、ハンダ付け、トーチの使用によって生じる熱によって塗装が熱せられると発生します。

すべての作業は屋外で換気された場所で行ってください。法規に従って塗装、溶接は廃棄してください。



部品の溶接や加熱をする前には塗装を剥がしてください:

- 塗装をサンドブラストやグラインダーで除去する際は粉塵が生じますので、吸い込まないようにしてください。このため、適切な呼吸保護装置を着用してください。
- 溶接前に溶剤、塗装剥剤を使用する場合、水や石鹼で溶接箇所の汚れを洗い落としてください。溶接または加熱前に最低でも 15 分間はガスを拡散してください。

1.1.安全デカル

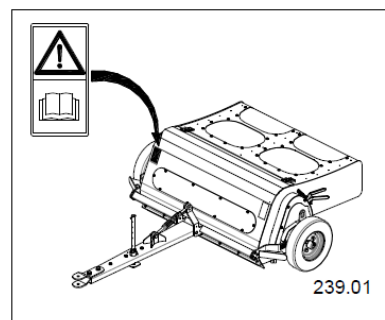
警告マーク

危険を示す警告マークは本機のいくつか重要箇所に貼り付けてあります。この三角形のマークによって危険が示されています。その下のシンボルは適切な操作方法で、ケガを防止できることを示しています。これらの警告マーク、本機への貼り付け箇所、簡単な説明は以下に記載してあります



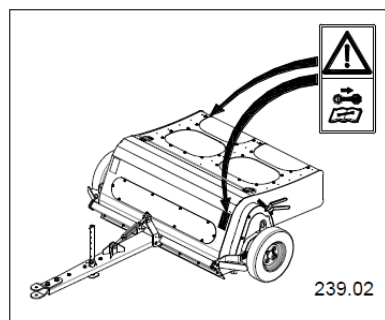
取扱説明書

取扱説明書は本機の安全な使用のための重要な情報が記載してあります。事故を防ぐために、すべての安全事項に従ってください。



整備

整備、修理を行う前に、エンジンを切ってイグニッションキーを抜いてください。



1.2.機械の安全

安全要件

以下の安全事項と安全マークは本機に記載してあります。このラベルは操縦席から見えやすい場所に貼り付けてください。

- 本書を通読してください。
- 保護装置、シールドがない場合や保護装置が所定の位置になかったり、稼働しない場合は本機を操縦しないでください。
- 周りに人がいる場合は本機を稼働しないでください。
- 未習熟者には運転させないでください。

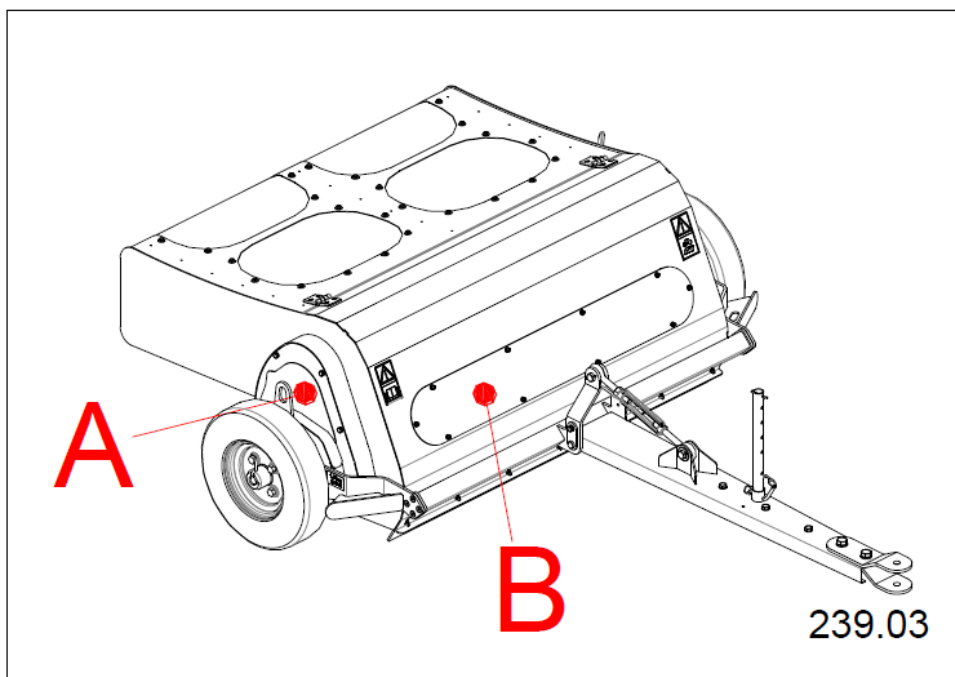


注記 危険

安全装置がない場合、本機を使用しないでください。あなた自身や他者に危険が及ぶ可能性があります。

⇒可動部品は大ケガをする危険があります。

本機の安全装置を確認してください。



A=駆動箇所の保護装置は工具によってのみ取り外し可能です。

B=カバーは工具によってのみ取り外し可能です。

1.3. 安全指針



- 本書に記載された情報に加えて一般的な安全、事故防止の基準を遵守してください。
- 作業前にすべての機器、作業機能を理解してください。すべての保護装置が適切に取り付けられていることを確認してください。
- 操縦者は作業地での安全に責任を持ってください。
- 作業前に視界が良好であり、周囲に人がいないことを確認してください。
- 危険区域での作業はしないでください。
- 整備等いかなる作業時もエンジンを切り、イグニッションキーを抜いてください。
- 作業時は軍手、保護眼鏡、耳当て等の保護装置を装着してください。
- 傾斜地での作業や旋回時は十分に注意してください。**転倒する危険があります。**

2.0.組み立て

2.1.概要



注意:

整備する前はエンジンを切ってください。イグニッションキーは抜いてください。
作業時は軍手、保護眼鏡、耳当て等の保護装置を装着してください。

2.2.開梱

輸送フレームは以下の構造になっています。

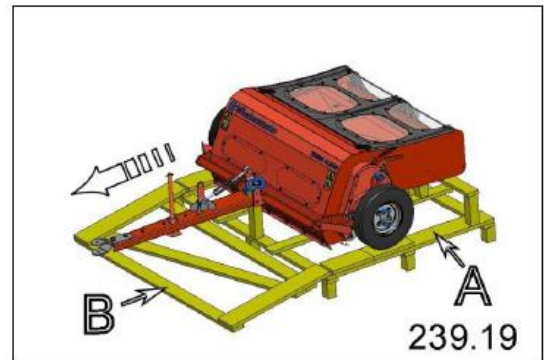
底部(A)

前方部(B)

後部

上部

個別のバーが左右にあります。



上部と側面の壁を外してください。

前方部を下げてタラップとして使用してください。

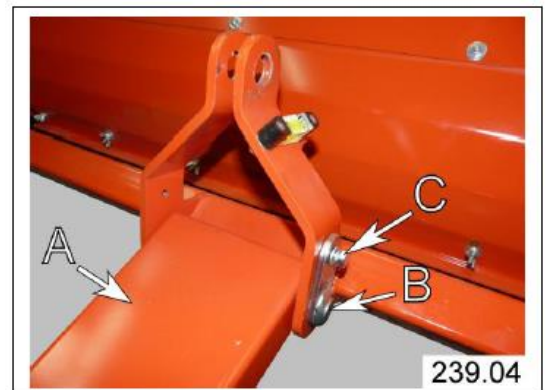
牽引バーを装着してください(項目 2.3.参照)。

本機を輸送できる状態にしてください(項目 4.4.参照)。

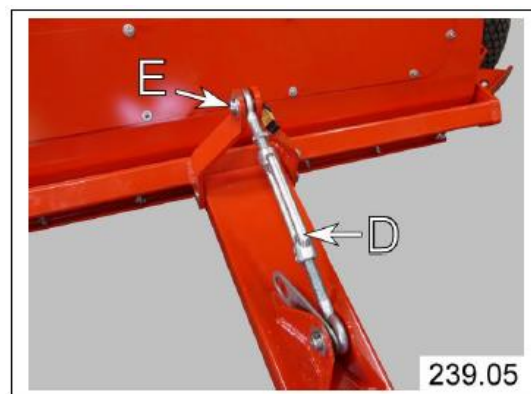
タラップまたはクレーンを使用して本機を降ろしてください(項目 3.2.2.参照)。

2.3.牽引バーの取り付け

固定ピン(B)でフレームに牽引バー(A)を取り付けて、ボルト(C)で締め込んでください。



ターンバックル(D)を挿入し、ピン(E)で固定してください。



3.0. 輸送

3.1. 概要



注意 危険:

- 本機はプレートに固定された状態で輸送されます。
- つり上げ能力を満たしたフォークリフトを使用してください。
- つり上げた状態では近づかないでください。落下する恐れがあります。

不適切な輸送、搭載は以下の危険があります。

- 人への危害
- 施設の損傷

輸送フレームと本機をつり上げている際は進行方向に充分注意してください。

ハンドル操作を誤ったことによる損傷に関しては責任を負いかねます。



注意 危険:

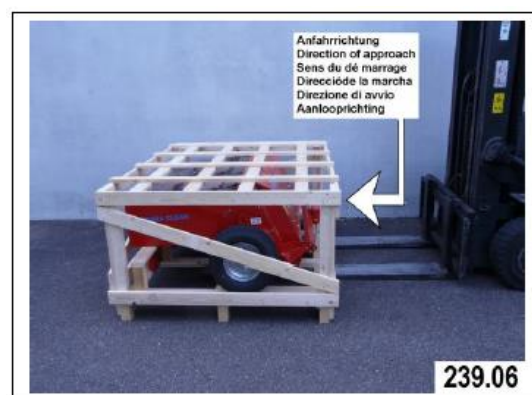
固定バンドを外す際は注意してください。バンドが跳ね、ケガをする恐れがあります。

3.2. 本機の輸送

3.2.1. フォークリフトでの輸送

本機がパレットに固定されている場合:

- フォークリフトをフレームの下に動かしてください(進行方向に注意してください)。
- 注意してフレームを持ち上げてください。
- バランスを保ちながら輸送機械から本機を降ろしてください。
- 固定バンドを切断してください。
- 本機をトラクターに接続し、輸送フレームから持ち上げてください。

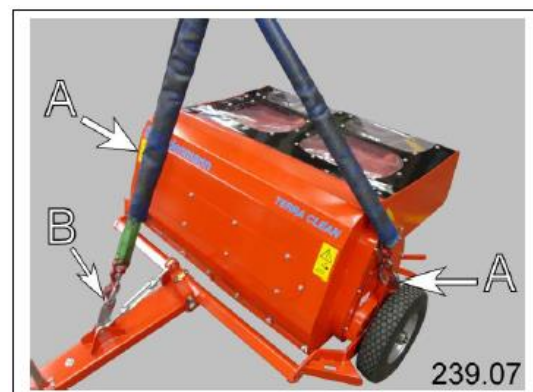


3.2.2.クレーンでの輸送

クレーンで持ち上げる際は以下の三点の取り付け箇所を使用してください。

ポイント A: 左右のホイールホルダーにある 2 箇所

ポイント B: 牽引バーのブラケットにある 1 箇所



3.2.3.トレーラー輸送時のつり上げポイント



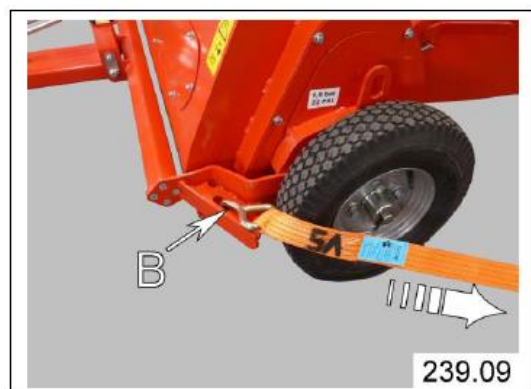
注意 危険:

項目 5.2.の取り外しに関する記載事項を確認してください。転倒する恐れがあります。
ベルトは対角線上に均等に締めてください。

- 両側の取り付け箇所 A にベルトを装着してください。



- 両側後方の取り付け箇所 B にベルトを装着してください。



4.0.トラクターへの接続

4.1.概要

以下の点を確認してください。

- トラクター出力 16 馬力以上
- スイング牽引バー

4.2.トラクターへの接続

大きい穴のあるプレート A

小さい穴のあるプレート B

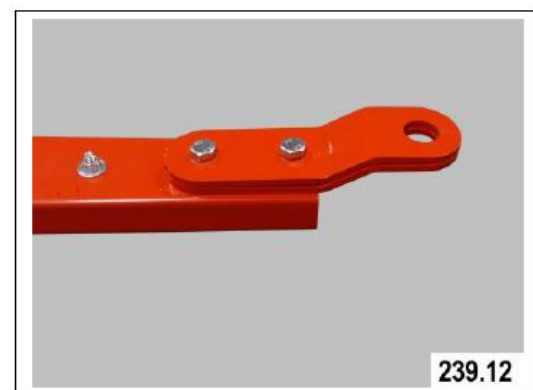
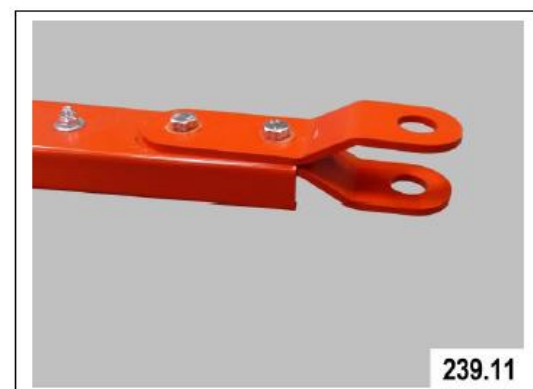
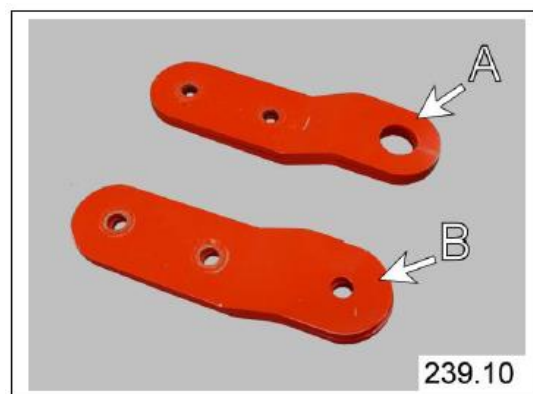
プレート A は輸送時に牽引バーのアタッチメントとして装着します。

本機と牽引バーを接続、固定してください。

1. ターンバックルで調整してください(項目 6.5.参照)。
2. 本機を輸送ポジションに設置してください(項目 4.4.参照)。

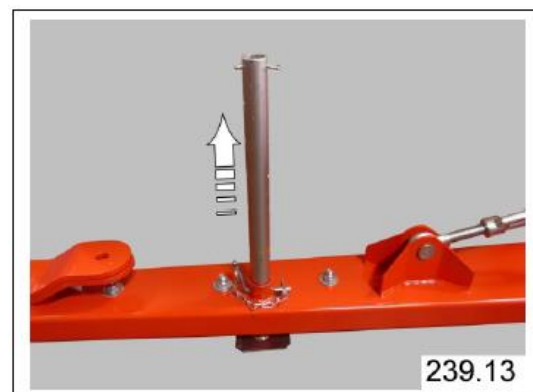
トレーラー バージョン I

トレーラー バージョン II



4.3.牽引バーのスタンド

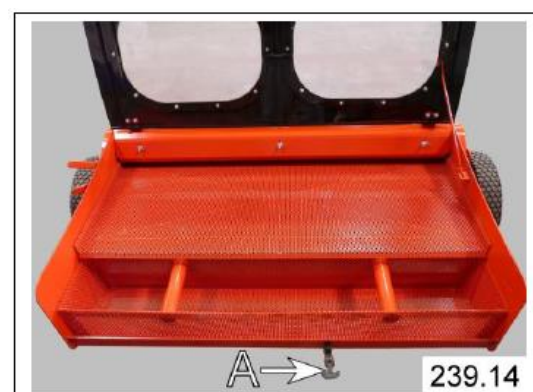
上に持ち上げてピンを挿入、固定して本機を支えてください。



4.4.本機の輸送

輸送前に以下の点に注意してください。

1. ドライブシステムのスイッチを切ってください(項目 7.3.参照)。
2. ラッチ(A)をフックに装着してください。



3. 中央の作業高さ調整を走行ポジションにしてください。
4. “T”のデカルが走行ポジションを表します。



5.0.トラクターからの取り外し

5.1.概要

本機をトラクターから取り外す際は固く水平な場所に止めてください。

エンジンが止まった状態で取り外してください。

何も積んでいない状態でトラクターから取り外してください。

本機が転倒しないよう注意してください。

本機が接続されていない際にはブラシを地面に接地させないでください。

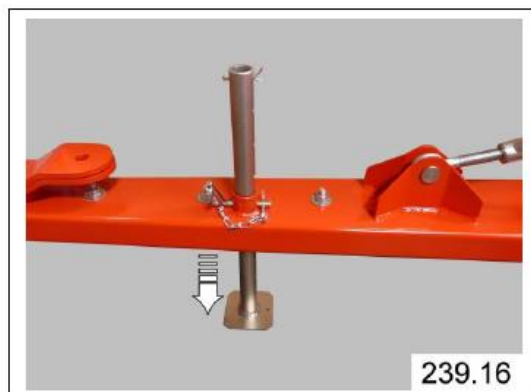
本機は湿気のある場所には保管しないでください。

5.2. トラクターからの取り外し

本機接続時は輸送ポジションで駐車してください。

トラクターからの取り外しは以下の手順に従ってください。

1. 必要な位置に支柱を下げて固定してください。
2. トラクターのピンを外してトラクターを前進させて本機から離してください。
3. ピンをトラクターに取り付け固定してください。



6.0. 初始動前に

6.1. 概要

本機稼働前にすべての機器、操作法、機能を熟知してください。

注意:

本機は地表の清掃を目的とするものです。過度な深度設定はホイールの動きを妨げ、作業場所に損傷を与える恐れがあります。

6.2. 作業深度の設定

人工芝の上で深度調整してください。

本機は作業高さ調整する必要があります。

調整レバー(A)を0の位置(B)まで動かしてください。

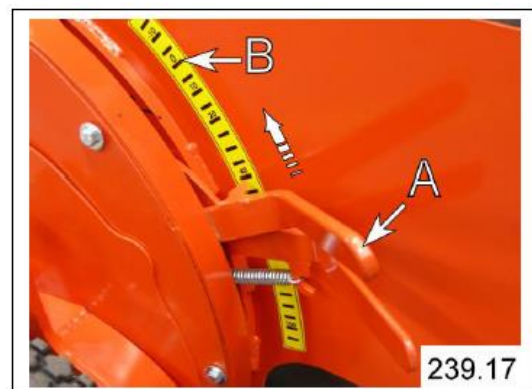
適切な作業位置は目盛りによって調整してください。作業場所の状況、固さに左右されます。

数メートル作業したら、再度調整を確認してください。

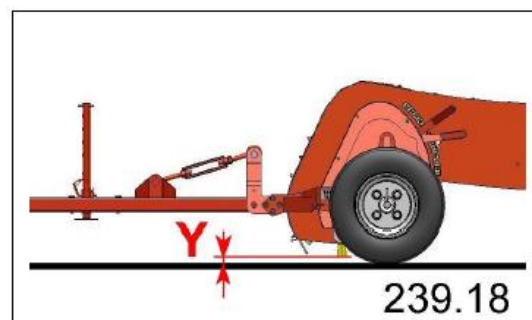
注意:

1 目盛りの調整で高さが 5 mm 変わります。

目盛りのマイナス表記は使い古したしたブラシ装着時に使用します。



新品のブラシ装着時に 20 の目盛りに設定するとブラシ先端から地表までの距離(Y)は約 20 mm です。

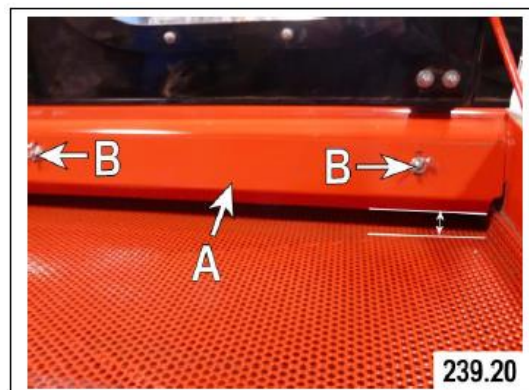


6.3.ホッパー内のディフレクター調整

プレート(A)は地表の状態に合わせて調整してください。

収集材、ごみとの分離の流れを変更するために、プレート(A)はスロットの幅で設定可能です。蝶ナット(B)を緩めて変更してください。

注意: 新設のグラウンドでは芝の切れカスを多く含んでいます。



本機角度調整	記述	プレート設定
+	● 乾燥した地表 ● 新設またはよく手入れがなされている作業地 ● 定期的に整備されたきめの粗いゴミが少ない作業地 ● 深度がある作業	スロットの上部に設定
	● 定期的に整備された汚れの少ない作業地	スロットの中間に設定
ニュートラル 0	● 定期的に整備されており、きめの粗いゴミがある作業地 ● 芝カスを含む乾燥した作業地	スロットの中間に設定
—	● 整備されていない芝の切れカスを含む作業地 ● 乾燥した平坦な作業地 ● 落ち葉のある平坦な作業地	芝の種類に応じてスロットの中間または上部に設定

6.4.本機傾斜角度調整

牽引バーのターンバックルで角度調整してください。

ポジション“0”

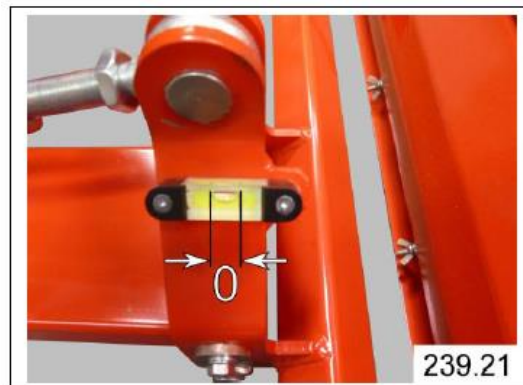
- 定期的に整備されたきめの粗いゴミを含む作業地
- 芝カスを含む乾燥した作業地

ポジション“後方を上げる＝＋”

- 新しいまたは手入れされた汚れの少ない作業地
- 定期的に整備されたきめの粗いゴミが少ない作業地
- 深度がある作業
- 露で湿った平坦な作業地

ポジション“後方を下げる＝－”

- 整備されていない芝の切れカスを含む作業地
- 乾燥した平坦な作業地
- 落ち葉のある平坦な作業地

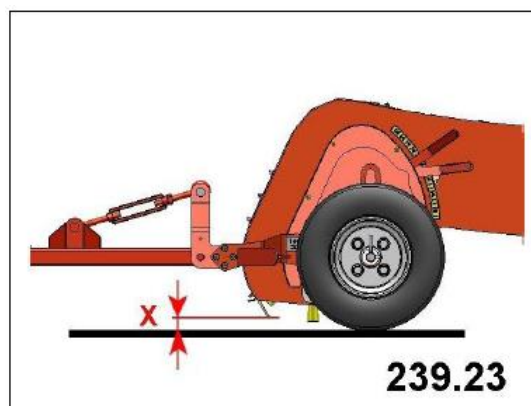


6.5.前方のバッフルフラップ調整

輸送時はバッフルフラップが最も低い位置にあります。

ブラシが消耗してきたら、バッフルフラップは地表に対して平行に調整しなければなりません。

バッフルフラップの先端と地表までは最低 10 mmの間隔を必要とします。ブラシと地表との間隔より広くしてください。



7.0.作業

7.1.概要

注意:

本機は地表の清掃を目的とするものです。過度な深度設定はホイールの動きを妨げ、作業場所に損傷を与える恐れがあります。本機は適正な速度で作業してください。

急発進、急停止、急旋回は避けてください。芝が剥がれたり、人工芝を形成する葉をせん断する恐れがあります。鋭角な旋回もまた芝が剥がれる原因となるので、避けてください。

本機は濡れた地表での作業には適しておりません。濡れた収集材がスクリーンに詰まる可能性があります。

7.2.運転



注意 :

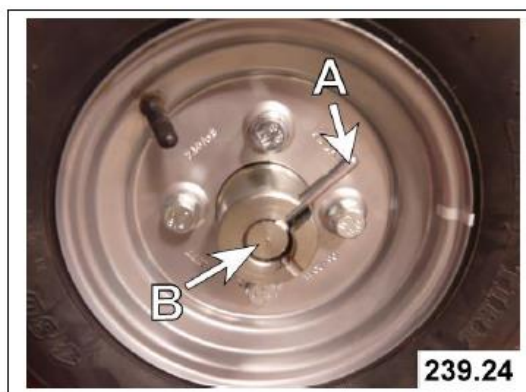
本機の接続により、トラクターの運転や作業特性に影響が出る場合があります。

- 管理者が作業速度を定めない場合、8km/h 以下で作業してください。
- 収集材が多い場合は作業速度を 6.4km/h に落としてください。

7.3.グランドドライブの切り替え

走行

- レバー(A)を使用して、シャフト(B)を外側に引いてください。
- レバー(A)で締め込む方向に回転させて固定してください。
- 徐々に動かしてシャフト(B)を適正の位置にしてください。



停止

- 少し後進してください。
- レバー(A)を使用してシャフト(B)を溝から引いてください。
- レバー(A)を緩む方向に回転させて固定してください。



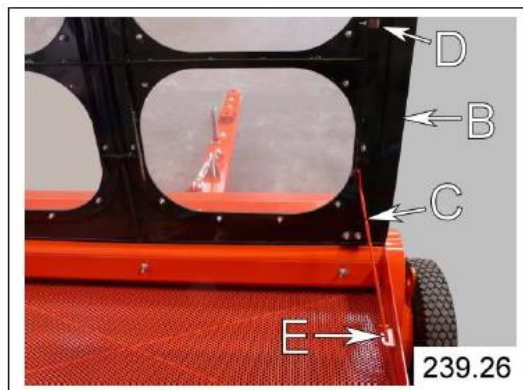
7.4.収集物の除去



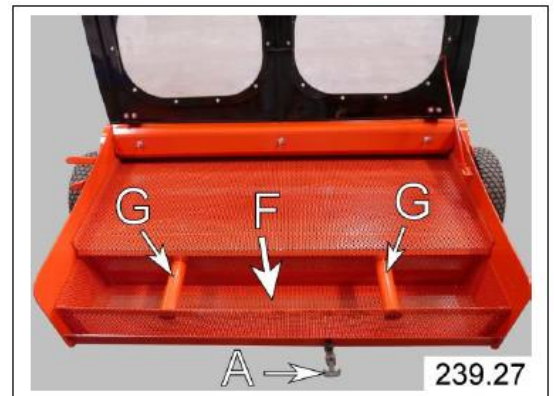
注意 :

整備をする際は本機とトラクターの両エンジンを止めてください。ケガをする恐れがあります。

1. ラッチ(A)を外してください。
2. プロテクター(B)を上げてください。
3. 支持棒(C)をクランプ(D)から引き、ブラケット(E)に取り付けてください。



4. ホッパー(F)の引上げには補強管(G)を使用してください。
5. フレームに空のホッパーを収めてください。
6. 支持棒(C)をブラケット(E)に引っかけて、スプリングクリップ(D)の内側に押し込んでください。
7. 保護カバーを閉じてください。
8. ラッチ(A)を再度取り付けてください。



7.5.トラブルシューティング

現象	原因	対策
収集が不十分である	ブラシの位置が低すぎる	最大 8km/h に走行速度を上げる。曲がり角は 5km/h 以下で走行するよう注意してください。
	バッフルプレートとブラシの間隔が広すぎる	ブラシを確認し、必要に応じて交換してください。
	ブラシの位置が高すぎる	歯車 1 つ分調整するか、テンションジャッキで微調整行ってください。最大深度を 3 mm としてください。
	作業地が荒れている	2 度作業を行ってください。 作業地の汚れ具合に応じて作業頻度を変更してください。
	地表の汚れがすくない	地表のゴミが多い時に作業してください。 項目 6.5 を参照し、フラップの位置を調整してください。
本機/円筒ブラシが片側しか動かない	タイヤの空気圧がそれぞれ異なる	必要に応じてタイヤの空気圧を確認してください。
	スライドベアリングの摩耗により隙間が生じている	スライドベアリングの交換をしてください。
収集物の中にゴムチップが多く含まれている	人工芝が湿っている	作業地が完全に乾いてから作業してください 状況に応じて作業深度を浅くしてください
	乾いた作業地に対して走行速	最大 8km/h に走行速度を上げ

	度が遅すぎる	る。曲がり角は 5km/h 以下で走行するよう注意してください。
	収集ブラシの設定が深すぎる	歯車 1 つ分の調整で深度が深い場合、テンションジャッキで微調整を行ってください。最大深度を 3 mmとしてください。
	ふるいの角度が小さすぎる	仕様に基つきふるいの角度を設定してください(項目 6.5.参照)。必要に応じて微調整してください。
作業音が大きい	チェーンの潤滑が不十分	グリスアップしてください(項目 8.7.参照)。
	歯車にあそびがある	あそびを確認し、必要に応じて歯車を交換してください。

8.0.整備

8.1.概要



概要:

有資格者が整備、修理、解体作業を行ってください。

装置が接続された状態で整備を行ってください。トラクターをオフにし、偶発的にオンにならないようにしてください。

如何なる作業においてもエンジンをオフにし、イグニッションキーを抜いてください。

軍手、保護眼鏡、耳当て等の保護装置を装着してください。

純正の部品のみを使用してください。

純正以外の部品は品質が異なり、危険を有します。

純正部品を使用することにより、保証と正当なクレームが認められます。

ウイデンマン社純正部品は以外は認められません。そのような製品の取り付けは本機に悪影響を及ぼします。純正以外の製品使用によって生じた損傷への責任は負いかねます。

整備前には本機以外のすべての部品は取り外し、再度安全カバーを取り付けてください。

車輪駆動のボールベアリングに損傷や問題がある場合、正確な取り付けには特殊工具が必要なため、担当の(株)ミクニ営業所にご連絡ください。正しく取り付けられていない場合、チェーンホイールの摩耗につながります。

8.2.メンテナンス、点検リスト

頻度	箇所	対処
最初の使用から 5 時間後	本機	すべての可動部品とネジがしっかりと装着されているか確認してください。
最初の使用から 20 時間後	チェーンの張り	最初の点検は項目 8.6.参照
毎日	スクリーン	洗浄
	スウィーピングローラー	洗浄
必要に応じて	ホイール	空気圧を確認してください。
	ブラシの毛	ブラシの長さが 65 mm 以下の場合、新しいブラシを装着してください。項目 8.5.参照
20 時間	チェーン	グリスを使用して潤滑してください。
40 時間	チェーンの張り	項目 8.6.に従い、点検を行ってください。必要に応じて張り直してください。
年間	本機	保守点検

8.3.本機の洗浄



注意：

洗浄はブラシや水で行ってください。決して素手で行わないでください。ケガをする可能性があります。

作業を終えたらその都度洗浄し、次回使用する際に不具合がないようにしてください。

主な洗浄ポイントは以下の通りです。

4*すべてのブラシ

5*コンテナ内のスクリーン

6*収集ボックス

8.4. ブラシの洗浄



注意:

洗浄はブラシや水で行ってください。決して素手で行わないでください。ケガをする可能性があります。

1. カバー(A)を外してください。
2. ブラシの駆動を止めてください(項目 7.3.参照)
3. スウィーピングヘッドとブラシを洗浄してください。
4. 洗浄後カバー(A)を取り付けてください。



8.5. ブラシレールの交換



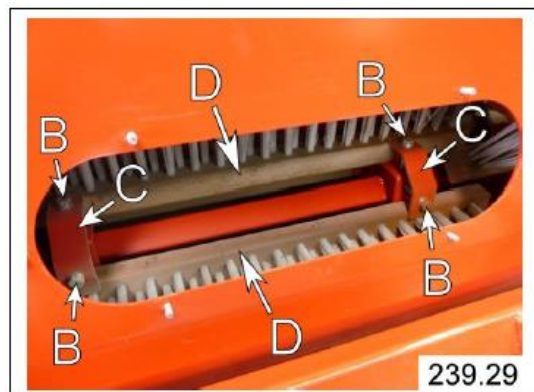
注意:

トラクターのスイッチを切ってイグニッションキーを抜いてください。ケガをする可能性があります。

1. カバー(A)を外してください。
2. ネジ(B)を緩めてプレート(C)を外してください。
3. ブラシ(D)を外して確認してください。



4. 僅かに変形したブラシは 180° 回転させて使用してください。
5. 大きく変形したブラシは交換する必要があります。
6. ブラシ(D)をブラシパイプの上に置き、プレート(C)とネジ(B)を使用して締め込んでください。
7. 以上の手順がすべて完了したら、カバー(A)を取り付けてください。



8.6.チェーンの張り調整

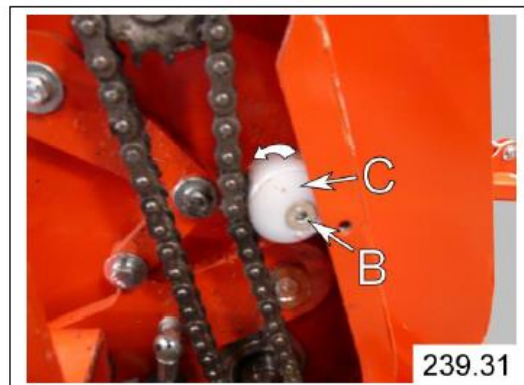
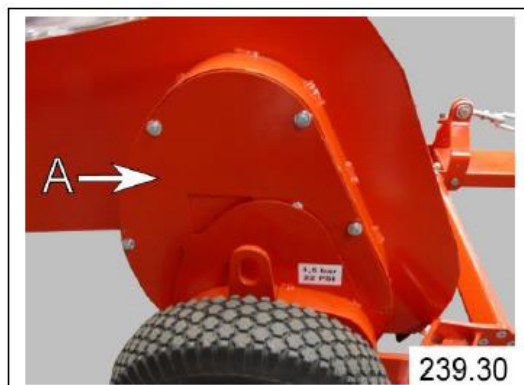


注意:

トラクターのスイッチを切ってイグニッションキーを抜いてください。ケガをする可能性があります。

以下の手順でチェーンの張りを調整してください。

1. トラクターを停止させてイグニッションキーを抜いてください。
2. 右側からカバー(A)を外してください。
3. ネジ(B)を外してください。
4. テンショナー(C)を望みの位置に回転させてください。
5. ネジ(B)を完全に締め込んでください。
6. 以上の手順がすべて完了したら、カバー(A)を取り付けてください。



8.7.潤滑

- 潤滑作業をする際はエンジンを切って、イグニッションキーを抜いてください。
- 必要に応じて明記されている頻度よりも頻繁に潤滑してください。
- 常に外にむき出しになっている部品やネジ山にはうっすらと潤滑してください。
- 少量のオイルをチェーンに施してください。
- 長期保管後に本機を再稼働する際は必ずすべてのグリスポイントを潤滑してください。

8.8.ホイールとタイヤ

通常のタイヤの空気圧:21psi



注意:

タイヤの破裂やリム周辺の部品の飛散による深刻なケガを負う恐れがあります。適切な経験と器具がある場合のみ、タイヤの取り付けを行ってください。

常に推奨のタイヤ圧を保ってください。推奨されたタイヤ圧以上にはしないでください。タイヤを熱したり、溶接を行わないでください。タイヤを熱することでタイヤ内の圧力が高まり、破裂する恐れがあります。溶接はホイールを変形したり、損傷を与える恐れがあります。

空気を注入する際は接続時に安全装置を取り付け十分な長さのホースを用いてください。タイヤに空気

を注入している際は反対側に立つようにしてください。タイヤの正面には立たないようにして、可能であればケージでタイヤを囲ってください。

日々ホイールとタイヤの空気圧の低下、溝の状態、膨らみ、リムの損傷、ホイールのボルトの紛失を確認してください。

8.9.分解/廃棄



注意：

本機を分解する際は十分に注意してください。

安全事項をよく読み、自治体の規則に従ってください。

以下の危険に注意してください。

- 分解後に落下する重たい部品
- 鋭利な箇所、部品
- 部品が転がり、周囲の人にぶつかる

廃棄のための分解

1. 本機を平らな場所に駐車してください。
2. 本機を上部から順に分解してください。

重要：

環境に悪影響を及ぼす物質を廃棄する際は法規制を遵守してください。

8.10.未承認の改造とスペア部品の製造

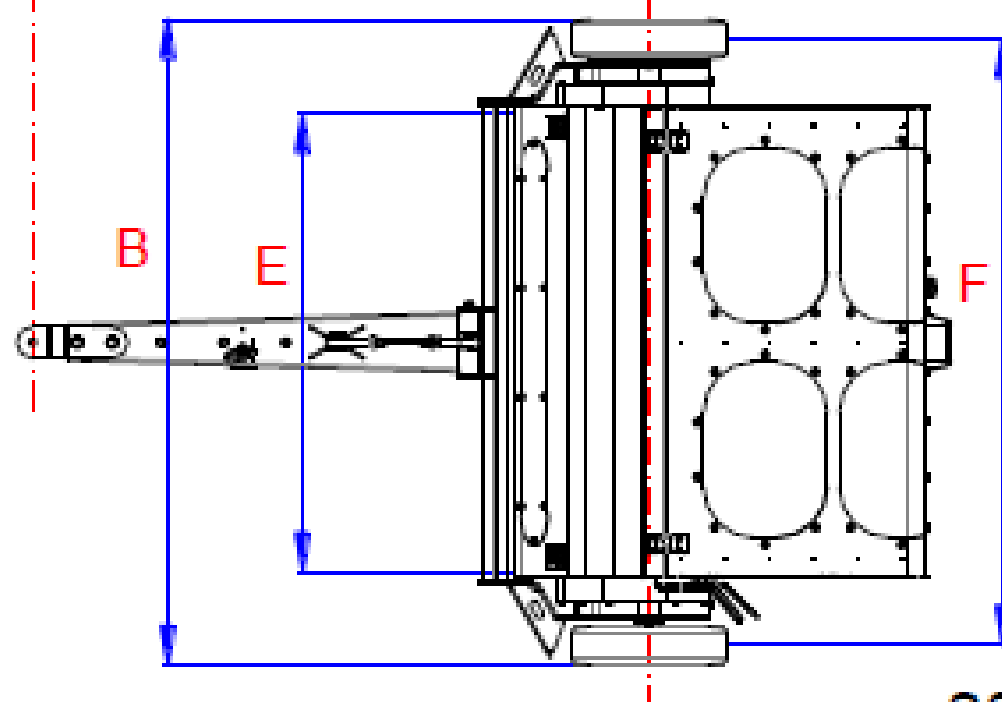
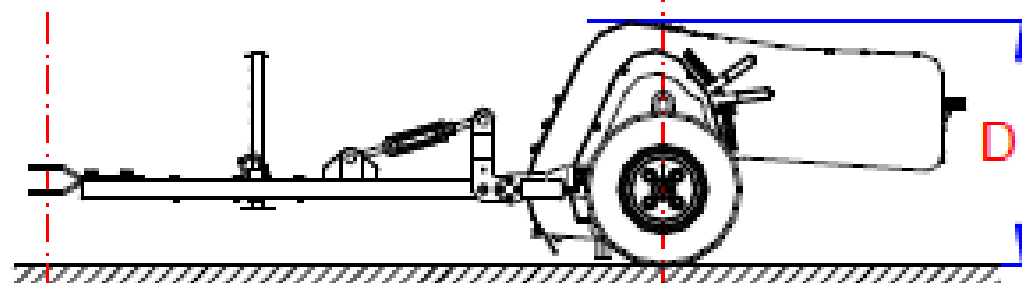
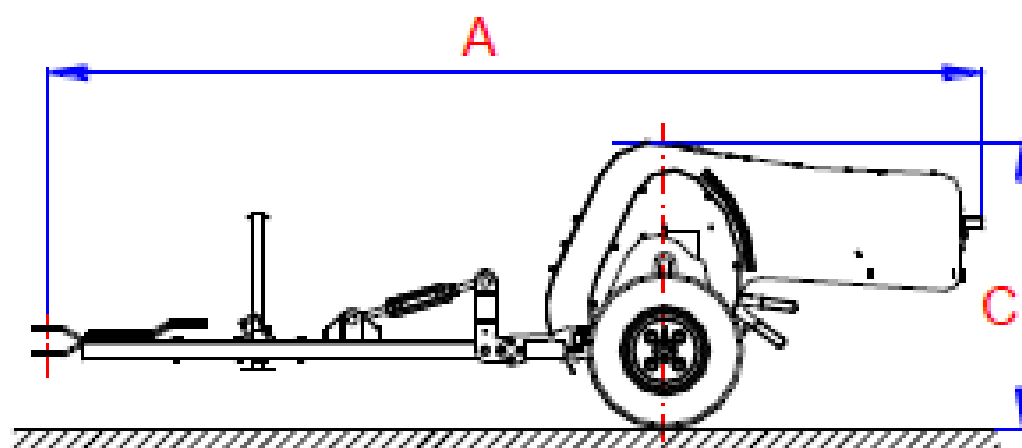
本機の変更、改造は事前に製造元の許可がある場合認められます。

製造元に認められた純正部品、アクセサリは安全を保証します。他の部品は本機の性能を変更する可能性があります。これにより生じた問題には責任を負いかねます。

9.0.仕様

9.1.仕様データ

A 移動位置での全長	2400 mm
B 全幅	1655 mm
C 移動位置での全高	735 mm
D 作業時の全高	635 mm
E 作業幅	1200 mm
F タイヤの間隔	1555 mm
駆動速度 8km/h	
ブラシの作業速度	約 680/min.
偏心軸	約 680/min.
トラクター要件	16 馬力以上
作業速度	6-8km/h
ブラシ深度	5-7 mm
タイヤ	
タイヤ直径	400 mm
タイヤ空気圧	21psi
収集ボックス容量	50 リットル
重量:	
重量(牽引装置含む)	218kg
収集物許容重量	12kg
最大重量	230kg



239.32

9.2.締め付けトルク

Property Class and Head Markings	4.8  4.8  4.8  10.9  12.9  															
	5  10  10  10  10  10  10  10  12  12 															
Size	class 4.8				class 8.8 or 9.8				class 10.9				class 12.9			
	Lubricated *		Dry **		Lubricated *		Dry **		Lubricated *		Dry **		Lubricated *		Dry **	
	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft	N-m	lb-ft
M6	4,8	3,5	6	4,5	9	6,5	11	8,5	13	9,5	17	12	15	11,5	19	14,5
M8	12	8,5	15	11	22	16	28	20	32	24	40	30	37	28	47	35
M10	23	17	29	21	43	32	55	40	63	47	80	60	75	55	95	70
M12	40	29	50	37	75	55	95	70	110	80	140	105	130	95	165	120
M14	63	47	80	60	120	88	150	110	175	130	225	165	205	150	260	190
M16	100	73	125	92	190	140	240	175	275	200	350	255	320	240	400	300
M18	135	100	175	125	260	195	330	250	375	275	475	350	440	325	560	410
M20	190	140	240	180	375	275	475	350	530	400	675	500	625	460	800	580
M22	260	190	330	250	510	375	650	475	725	540	925	675	850	625	1075	800
M24	330	250	425	310	630	475	825	600	925	675	1150	850	1075	800	1350	1000
M27	490	360	625	450	950	700	1200	875	1350	1000	1700	1250	1600	1150	2000	1500
M30	675	490	850	625	1300	950	1650	1200	1850	1350	2300	1700	2150	1600	2700	2000
M33	900	675	1150	850	1750	1300	2200	1650	2500	1850	3150	2350	2900	2150	3700	2750
M36	1150	850	1450	1075	2250	1650	2850	2100	3200	2350	4050	3000	3750	2750	4750	3500

9.3.シリアルナンバー

以下にシリアルナンバーを記入してください。

スペア部品の注文や保証申請時に必要になります。

シリアルナンバー

